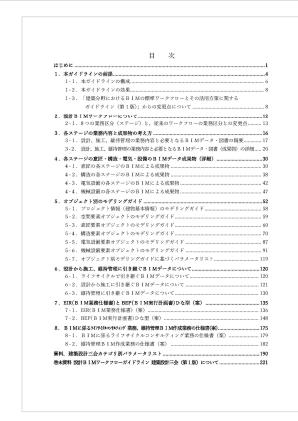
# 令和3年度 JIA BIMの取組

- 1. 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 (第1版)」に発刊ついて
- 2. 建築設計三会 設計BIMワークフローガイドライン検討委員会の検討経緯
- 3. 普及の取り組み

公益社団法人 日本建築家協会 20211210 設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会(第1版) 建築設計三会、設計BIMワークフロー検討委員会 (日本建築土会連合会・日本建築土事務所協会連合会・日本建築家協会)



第1版を発刊致します。関連団体の皆様に配布の予定しております。

既に建築BIM推進会議HPにもPDF版を掲載頂いておりますので、ぜひ、ご活用頂ければと思います。 建築設計三会 設計BIMワークフローガイドライン 検討委員会では引き続き検討を行い、 必要に応じて、更新を予定しております。

### 2. 建築設計三会 設計BIMワークフローガイドラインの検討経緯 -1

## 【経緯】

令和2年4月 建築設計三会(日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、

日本建築家協会) 設計BIMワークフロー検討委員会 検討開始

令和3年3月 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 提言」公開

令和3年4月 関係団体より意見質問募集

令和3年10月 意見質問回答とりまとめ

令和3年11月 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 (第1版) | 公開





ご意見・ご質問に対するご回答・対応について(令和3年10月).pdf (mlit.go.jp)

関連団体の皆様より280を超えるご意見・ご質問を頂きました。 沢山のご意見・ご質問をお寄せ頂きまして有難うございました。



お寄せ頂きましたご意見、ご質問は、建築BIM推進会議HPに回答等を掲載させて頂くと共に、ガイドライン第1版に掲載致しました。今後も関連団体の皆様と意見交換などさせて頂きたく思っておりますので、引続、き宜しくお願い申し上げます。

# 3. 普及の取組み

JIAでは、「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会(第1版)」を会員に配布予定です。合わせて、ガイドライン説明会を行うことも計画しております。

### 設計BIM ワークフローガイドライン 建築設計三会 第1版

#### BIM特別委員会

#### 【経緯】

令和2年3月に建築BIM推進会議 環境整備部会において、「建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第1版)」(以下、同ガイドライン)がまとめられました。 同ガイドラインは、8つの業務区分(ステージ)やBIMを遂行するために必要な新たな業務が提案されるなど、今後BIMを業務に活用していく上で重要となる、幾つもの提案がなされました。

しかし、同ガイドラインは、大きな概念を示すものであり、実務での 活用、すなわち、BIMによる設計・監理業務契約を行なうためには、 より詳細な決め事を定める必要がありました。

そこで、建築設計三会では、令和2年度、設計BIMワークフロー検討 委員会を中心として、同ガイドラインの内容を深化させる検討に着手 し、深化の検討をまとめたものが、今回、発刊を予定している「設計 BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 第1版」になります。 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会 第1版」では、 8つの業務区分の業務内容の詳細の例示、各ステージにおけるオブ ジェクトの詳細度の例示、更に、BIM業務仕様書(EIR)とBIM実行計 画書(BEP)のひな型が添付されているなど、実際に、設計・監理業

務でのBIM活用をする上で、必要な内容がまとめられています。

#### 【本ガイドラインの前提】

本ガイドラインは、 BIM業務のワークフローと必要なルールについて、一つの標準例を示したものです。従来のワークフローの標準は、告示98号 (国文省告示第98号 平成31年1月21日) による「標準業務 (棄務内容と成果図書)」で規定され、標準業務圏が示されています。 BIM業務においても標準的な業務の考え方によって、適切な業務の実施に繋げたいところですが、告示98号をベースに考えた方が、理解がしやすいのではないかと考えました。そこで、本ガイドラインでは、できる限り告示98号「標準業務」を参照しながら、そこにBIM業務ならではのルールを加える形を考えることにしました。

#### 【今後の予定】

本ガイドラインは、令和3年に3月に建築BIM推進会議HPに「提言版」公開し、同会議の関係団体よりご意見・ご質問を頂きました。頂いたご意見を反映させた上で、近々、「第1版」として発刊を予定しています。内容については裏面に本ガイドライン目次(策)を添付しているので合わせてご覧ください。 建築設計三会では、今後も「設計BIMワークフロー検討委員会」にて引き続き検討を進め、随時、改訂を図ることを考えています。





### 設計 BIMワークフローガイ ドライン 建築設計三会 第1版(案) 目次より

	目 次	
はじ	. ಶ್ರೀ	1
1.	本ガイドラインの前提	4
2.	設計BIMワークフローについて	9
	2-1.8つの業務区分(ステージ)と、従来のワークフローの業務区分との変更点	10
3.	各ステージの業務内容と成果物の考え方	13
	3-1. 設計、施工、維持管理の業務内容と必要となるBIMデータ・図書の概要	14
	3-2. 設計、施工、維持管理の業務内容と必要となるBIMデータ・図書(成果品)の詳細	17
4.	各ステージの意匠・構造・電気・設備のBIMデータ成果品(詳細)	27
	4-1. 意匠の各ステージのBIMによる成果物	27
	4-2. 構造の各ステージのBIMによる成果物	35
	4-3. 電気設備の各ステージのBIMによる成果物	39
	4-4. 機械設備の各ステージのBIMによる成果物	44
5.	オブジェクト別のモデリングガイド	49
	5-1. プロジェクト情報 (建物基本情報) のモデリングガイド	55
	5-2. 空間要素オブジェクトのモデリングガイド	56
	5-3. 意匠要素オブジェクトのモデリングガイド	57
	5-4. 構造要素オブジェクトのモデリングガイド	67
	5-5. 電気設備要素オブジェクトのモデリングガイド	84
	5-6. 機械設備要素オブジェクトのモデリングガイド	88
	5-7. オブジェクト別モデリングガイドに基づくバラメータリスト	. 116
6.	設計から施工、維持管理に引き継ぐBIMデータについて	. 117
	6-1. ライフサイクルで引き継ぐBIMデータについて	. 117
	6-2. 設計から施工に引き継ぐBIMデータについて	. 118
	6-3. 維持管理に引き継ぐBIMデータについて	. 127
7.	EIR(B I M業務仕様書)と BEP(B I M実行計画書)ひな型 (案)	. 132
	7-1. EIR(BIM業務仕様書)(案)	. 133
	7-2. BEP(BIM実行計画書)ひな型 (案)	. 145
8.	BIMに係るライフサイクルコンサルティング業務、維持管理BIM作成業務の仕様書(案)	. 172
	8-1. BIMに係るライフサイクルコンサルティング業務の仕様書(案)	. 176
	8-2. 維持管理BIM作成業務の仕様書(案)	. 179
資料	4. 建築設計三会カテゴリ別バラメータリスト	. 187
<b>K</b> -1	:海利 別は P.I.M.D	210